

身近な「バケツ」にまつわる英語表現(前編)

—古くからある rain cats and dogs と rain buckets—

大西 博人

1. はじめに

英語には、日本語と共通する多くの慣用表現があります。大雨のことを日本語では、「バケツをひっくり返したように降る」と言いますが、英語でも bucket を用いて土砂降りを表します。

本稿では、古くからあり現在でもよく用いられる rain cats and dogs の由来と、日本語に似通った英語表現 rain buckets を、用例を通してご紹介します。また、珍しい同等表現 rain monkeys も併せてご紹介したいと思います。

2. 古くよりある「土砂降り」を表す表現 rain cats and dogs

「土砂降り」を意味する慣用表現 “to rain cats and dogs” は、犬と猫が登場する一風変わった英語表現のため、英語学習者に広く知られています。しかし、その語源には諸説あり、古くからある表現のためか明快な定説はありません。

ある説では、イギリスのチューダー朝時代、たいいていの貧しい人々は、ペットの居場所を屋根裏にしていた、大雨の際、雨水が粗雑に葺かれた屋根を通したため、ペットを下に降ろしたのです。またペットの犬と猫には、悪天候を連想させる迷信がありました(the-guardian.com)。

他の一説によると、ビクトリア時代、イギリスの道路や排水溝は整備されていなくて、大雨で通りに残されたままの犬や猫は増水で溺れ、その死骸が大雨や洪水で流され道路に散在していたため、まるで雨のように降ってきたように見えたのでした(grammar-monster.com)。

以上の所説より、この表現の語源は、イギリスの住居や衛生環境から由来し、大雨と犬猫を結びつけた連想に由来すると思われます。つまり、犬や猫が押し流されるような大雨という意味でしょう。

【1】

“You said the girl, Stef, was driving Amelia’s car and wearing her rain slicker.”

“A distinctive slicker. She had the hood up. It was dark. Cats-and-dogs rain. From the back, she could easily have been mistaken for Amelia.”

— Sandra Brown, *Deadline*, Grand Central Publishing, 2014

目撃者のジャーナリスト Dawson が、ある事件で死亡した少女 Stef は別の女性 Amelia のレインコートを着て Amelia の車を運転していたと言ったことを、刑事が Dawson に確認している小説の場面です。Dawson は、「特徴的なレインコートだったが、フードを上げていて暗かったし、『土砂降りの雨』であったので、後ろからでは容易にアミーリアと間違えることがあっただろう」と答えたのです。

【2】

They went together to a silk market. “It rained cats and dogs,” says Mark. Who cares if they got drenched? “It was great,” says Stephanie.

— seattletimes.com, August 18, 2017

北京への日蝕ツアー参加者のうちの二人、Mark と Stephanie は親しくなり、一緒に絹製品市場に行ったのです。そこで「土砂降りに会い」ずぶぬれになりましたが、素敵な経験だったのでした。

3. 日本語「バケツをひっくり返したような大雨」に対応する表現 rain buckets

水道設備が完備する以前は、欧米でも日本でも水を運ぶ器としてのバケツは必需品でした。そのため

まとまった量の水は、バケツ一杯の水という感覚が定着したと考えられます。to rain buckets は、語源的には figurative sense of pouring from buckets とあり(en.wiktionary.org)、「バケツから水を注ぐように雨が降る」という比喻で、to rain heavily を意味しています。これに対して日本語では、「バケツをひっくり返したように雨が降る」という表現となりますが、両方ともバケツが用いられる共通点があります。

【1】

Buckets of rain and powerful winds that apparently spawned several tornadoes swept across Texas on Wednesday, forcing drivers to abandon cars on flooded roads but not dropping enough water to make up for a historic dry spell.

— inquirer.com, January 26, 2012

テキサス州はこの冬、歴史的に乾燥した日々が続いていました。そして、水曜日にはいくつかの竜巻を生み出したと思われる「土砂降りの大雨」と強風により、冠水した道路では運転者たちは車を放棄しなければならなかったのです。しかし、この季節外れの嵐も日照りには不十分であったのです。

【2】

She had bags. They were heavy because she'd bought extra bottled water. It was raining buckets. I offered to carry her purchases to the car for her. Which I did.

— Sandra Brown, *Deadline*, Grand Central Publishing, 2014

これはミステリー小説の中での会話の一部です。スーパーでたくさんのペットボトル水を買って重そうにしていた知り合いの女性に、「雨が激しく降っていた」ので車まで運ぶのを手伝った場面です。

【3】

It was raining buckets in San Francisco for a stretch of time about 7 p.m. Thursday. The rain drenched sidewalks and soaked anyone

who was outside.

— sfgate.com, March 16, 2018

木曜日の午後7時ごろサンフランシスコでは、一時的に「大雨になっていました」。雨は歩道を水浸しにし、外にいるどの人もずぶぬれになったのでした。

【4】

No sooner than the excavation for the pool was almost complete than it rained buckets.

— seattlepi.com, February 1, 2019

これはシアトルに分譲される住宅街 Walden での共有施設の建設の進行状態を伝える報道の一部です。The Fitness Pool の掘削がほぼ完了するかしないうちに、「大雨となったのです」。冬場のシアトル地域は、非常に雨が多いため建設作業が影響を受けることを伝える記事になっているようです。

4. 「大泣きをする」を表す cry buckets

英語も日本語も大量の雨水は、バケツの単位で表現していますが、英語には雨水以外に「大量の涙を流す」という表現、cry buckets があります。cry buckets of tears(バケツにためるほどの涙を出して泣く)と、より分かりやすく表現することもあります。大修館書店『ジーニアス英和辞典』第6版(2023)によると、bucket は、複数形で略式で「多[大]量」を表すと記載されています。

【1】

I was there when he breathed his last breath, and I cried buckets before and after. He was my mentor, my life-coach, my Dad in everything but blood, and I miss him terribly.

— seattlepi.com, April 27, 2012

これは35年前からの親友が病室で息を引き取った時も、その後でも私は「大泣きをした」のです。彼は先輩指導者でもあり、生涯のコーチでもあり、血縁以外のあらゆる面での父親的存在だったのです。

【2】

Do we dare to believe that we can even con-

sider being one nation under God? God must be crying buckets. We have some very intelligent people on both sides of the aisle. What an incredible waste of talent.

— azcentral.com, May 25, 2014

オバマ政権は変革を旗印に誕生し、野党共和党は当初より彼の政策、雇用創出やインフラ投資や医療保険制度などに反対してきたのです。「神の下で統一された国」であるのに、賢明なはずの与野党議員たちがこのような分断状況にあることに、神も悲しみ「号泣しているに違いない」とする報道です。

【3】

“It’s so overwhelming.” Dolder said, sobbing. “I’m crying buckets, because when you’ve seen the ugly in the world, and then you see the world come together for her, it’s just more than words can say. I’m so moved.”

— washingtonpost.com, December 9, 2015

Safyre は 5 歳のとき放火事件のため家族を失い、彼女も全身に大やけどを負い、片手片足の指を失いました。彼女の保護監督員 Liz Dolder は、クリスマスに 8 歳となったサフィアを励まそうとオンラインで呼びかけ、カードを吊るすツリーと彼女の写真の両方をアップしました。すると賛同者たちから 50 通近いカードが届いたのです。ドルダーは、卑劣な放火犯のいる世界でもサフィアを支えたいと思う多くの優しい人々がいることに感動し、「大泣きました」のです。

5. 犬と猫の代わりに猿が登場する「土砂降り」 rain monkeys

「土砂降り」を意味する古くからある英語表現 rain cats and dogs のように、雨を動物と結びつける日本語の表現に「狐の嫁入り」があります。これは日がさしている状態で小雨が降っている天候を呼びます。このような雨は、北米やオーストラリアやニュージーランドでは sunshower と呼んでいるようですが、複数のウェブサイトによると、南アフリカやアイルランドやイギリスでは “monkey’s wedding” と呼ばれることがあると説明されていま

す。その他の国々では、sunshower をネズミ(アラビア)、熊(ブルガリア)、ジャッカ(インド)、トラ(韓国)などと動物と結びつけ、「何々動物の結婚」と呼んでいるとあります(worldwidewords.org)。

このような雨と動物との連想より生まれたと推測される表現に to rain monkeys があります。この表現は sunshower ではなく、to rain cats and dogs と同じ「土砂降り」という意味で現れています。しかし、この表現は発信者個人のスタイルや作家の創作であるようで、一般化していないようです。

【1】

Today it rained monkeys, after being so stupidly hot, and no-one picked me up from work, the one time it would have been nice to be picked up, and no-one bothers.

— like-a-monk.livejournal.com, August 1, 2002

今日はひどく温度が上がった後、「土砂降りになった」が、職場の誰も車に乗ったらと言ってくれなかった。一度くらい乗せてくれてもよかっただろうに、誰も気にかけてくれなかったのです。

【2】

On the last available night for recce, it rained monkeys and lions! And I had just removed my umbrella from my bag the day before! What incredible irony!

— joeyasher.com, July 24, 2011

翌日に人と会う約束をしていた男は、その前日の夕方に会おう場所の下見(recce = reconnaissance)に出かけ、「土砂降りに会った」のです。ちょうどその前の日に傘をカバンから出していたのだった！何て皮肉なことなのだ！ここでは強調のためか lions を付け加えています。

【3】

“Hmpf. I remember the crime scene. It was raining monkeys and we had to hike halfway up a mountain. The local yokels tried to protect the scene as best they could, but the wind and the rain left us slim pickins. But we had a

blood sample from the Unsub.”

— Cj Lyons, *Blind Faith*, St. Martin's
Paperbacks 2012

これは FBI 捜査官が、パートナーの女性捜査官に過去の犯罪現場の森林での検証について語っているベストセラー小説の一場面です。「土砂降りの中」、二人は山の中腹まで登らなくてはならなかったのです。地元の警官(yokels)たちは、できるだけ事件現場を保全しようとしていましたが、風と雨のためにわずかな採取サンプル(pickins)しか残っていませんでした。しかし、未確認の犯人(the Unsub = the unknown subject(the unknown perpetrator of crime))の血液サンプルは得ていたのです。

6. まとめ

本稿では、古くよりある「土砂降り」を表す to rain cats and dogs の由来と、同様な表現 to rain buckets と to rain monkeys を用例と共にご紹介しました。To rain buckets の buckets では、「多量の雨」を表し、「大量の雨が降る」という意味で、英語でも日本語でも日常の用具バケツが「水量の単位」として用いられるのは興味あるところです。

「土砂降り」は、歴史的に身近な動物との連想があるとする説から、犬猫の代わりに monkeys が用いられ、to rain monkeys という表現も見られます。この表現は、恐らくは南アフリカの「日がさしているのに小雨が降っている状態」を指す monkey wedding からの連想から用いられたものとも考えることができます。

(兵庫県立神戸高塚高等学校 非常勤講師)